

項目	環境保全を重視した施策の展開	NO	1-2
事業名	森林資源再生事業		
事業費	8,243 千円	担当部局課	農林水産部 森林ノミクス推進課

1 目的

主伐後に再造林を行う仕組みを構築し、造林未済地の解消を目指す。

2 事業概要

- ・事業内容 : 森林組合等が行う再造林に対し、経費の一部を支援する。
- ・事業主体 : 森林組合等
- ・補助率 : 再造林の1ha当たり標準経費の12%相当額

○令和元年度実績

- ・再造林面積 : 40ha
- ・実施事業体数 : 事業体 (最上4 置賜1 庄内5)

3 成果と課題

【 成果 】

- ・H30から行政と民間業界の連携による100%再造林経費の支援を開始。
(国庫68%、税12%、一財10%、基金10%相当)

【 課題・対応 】

- ・伐採事業者と造林事業者が連携し、伐採前の段階から森林所有者に皆伐・再造林を働き掛ける取組みを推進することで、伐採後の確実な再造林に繋げる。



伐採跡地への再造林の状況

項目	環境保全を重視した施策の展開	NO	1-3
----	----------------	----	-----

事業名	森林資源循環利用促進事業		
事業費	24,842 千円	担当部局課	農林水産部 森林ノミクス推進課

1 目的

間伐で発生する低質材を、ラミナ・合板等用材やペレット等の木質バイオマス燃料用材として利用するための搬出への支援。

2 事業概要

(1) ラミナ等利用促進事業

間伐により発生した木材について、ラミナ（集成材）や合板、製紙・ボード用チップ等の用材として工場に出荷した場合に一定額を助成する。
（ラミナ等用材：県内500円/m³、県外400円/m³）

(2) バイオマス燃料利用促進事業

間伐等により発生した木材のうち低質材について、木質バイオマス燃料のチップやペレットの原料として工場に出荷した場合に一定額を助成する。
（間伐材の熱利用：1,190円/t、間伐材の発電用：280円/t）

・ 令和元年度実績

ラミナ等利用促進事業	22,158 m ³	（計画： 43,000 m ³ ）
バイオマス燃料利用促進事業	20,143 m ³	（計画： 26,000 m ³ ）
合計	42,301 m ³	（計画： 69,000 m ³ ）

3 成果と課題

【 成果 】

- ・ ラミナ等利用促進事業では、県内のラミナ材加工工場や県外の合板工場等への搬出に対して支援を行った。
- ・ バイオマス燃料利用促進事業では、燃料用のペレットやチップ加工工場、バイオマス発電施設への搬出に対して支援を行った。

【 課題・対応 】

バイオマス発電施設の増加や大型集成材工場の本格稼働など出荷先は増加してきているが、搬出利用の採算が合わず有効活用されていない間伐材や林地残材があり、これらが有効活用されるよう本事業の活用を推進する。

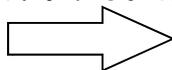
やまがた緑環境税を活用した取組み
【令和元年度森林資源循環利用促進事業の取組み事例】

「森林資源循環利用促進事業」

間伐に伴い発生する低質材を、合板用材等やペレット等のバイオマス燃料として利用するための搬出等に対し支援を行う。



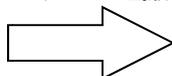
伐木造材
(本事業対象外)



林内からの
集材・集積



トラック運搬



工場搬入



用途別加工工場に運搬



ラミナ材
(集成材)
加工工場



合板工場



バイオマス燃料
加工工場



バイオマス発電施設

項目	環境保全を重視した森林資源の循環利用の推進	NO	1-4
----	-----------------------	----	-----

事業名	広葉樹林健全化促進事業		
事業費	1,500 千円	担当部局課	農林水産部 森林ノミクス推進課

1 目的

ナラ枯れ被害木を含むナラ林等を伐採し、木材の有効活用を図るとともに、害虫の駆除と森の若返りによる森林の再生を図る。

2 事業概要

ナラ林を主体とする広葉樹林の小規模皆伐（おおむね5ha以下）を実施する森林所有者、森林組合、素材生産業者等に対し、伐採搬出経費の一部を助成する。

・令和元年度実績

広葉樹の伐採搬出支援 1,547m³ （計画：1,500m³）

3 成果と課題

【成果】

ナラ枯れ被害の原因となる害虫の駆除と森林の若返りを促進し、併せて伐採木の利用による森林資源の有効活用を推進した。

【課題・対応】

ナラ枯れ被害は減少しているものの、地域によっては未だ被害発生が見られるところがあるため、引き続きナラ枯れ被害の拡大を防ぐ取組みを推進する。



伐採作業と集材・搬出の状況

森林資源の有効活用